

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.1 3 4】
添付ファイル: DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル.pdf

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、
医療過誤団体、野党政党等の約300カ所へ送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。

本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

(1)新規の情報提供希望者が身近におられた場合、**BYA-HPの「お問合せ」**をご紹介ください。

<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>

(2)有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。

(3)情報の中で「**拡散すべき情報**」があれば、皆さんの判断で「**転送・SNS拡散**」してください。

(4)また、皆さんが支援する政党があれば、**ベンゾジアゼピン薬害の実態を政党**にお伝えください。

【目次】

1. DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル (添付)
2. 薬物依存、後悔の涙が伝えるもの 元乱用者に聞いた
3. エルトン・ジョン、薬物依存に苦しんでいた時にジョージ・ハリスンからもらった助言を語る
4. ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集 (追加掲載)
5. 注釈: お送りしている本情報提供メールは、同じものを以下のBYA-HPIに掲載しています (添付資料を含め)。

【記事】

1. DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル (添付)

DSMとはアメリカ精神医学会によって出版された書籍であり、日本の精神医学の基準書＝教科書として扱われている。その内容は、日本のNCNPなどの陳腐研究よりも遥かに進んでいる。DSM-5とは第5版という意味で最新の版である。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B2%BE%E7%A5%9E%E9%9A%9C%E5%AE%B3%E3%81%AE%E8%A8%BA%E6%96%AD%E3%81%A8%E7%B5%B1%E8%A8%88%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB>

今回DSM-5を掲載した理由は、**奇異反応 (攻撃性の増加等の性格の変容)**を知らない方がいるからである。医薬品添付文書でも「あらゆる服用患者が発症する」危険性がPMDAから警告されており、**ベンゾジアゼピンの3大副作用は①薬物依存、②離脱症状、③奇異反応である**。なおDSM-5では「薬物依存」の用語が消えて、「物質使用障害」に変更されており、薬物依存からより広く定義する目的で変更されている。決して従来の「薬物依存」の概念が消えたわけではない。

以下引用

『(6) 鎮静薬、睡眠薬、または抗不安薬の作用により、持続的、または反復的に社会的、对人的問題が起こり、悪化しているにもかかわらず、その使用を続ける (例: 中毒の結果についての配偶者との口論、身体的喧嘩)』 (543頁) **他多数**

2. 薬物依存、後悔の涙が伝えるもの 元乱用者に聞いた

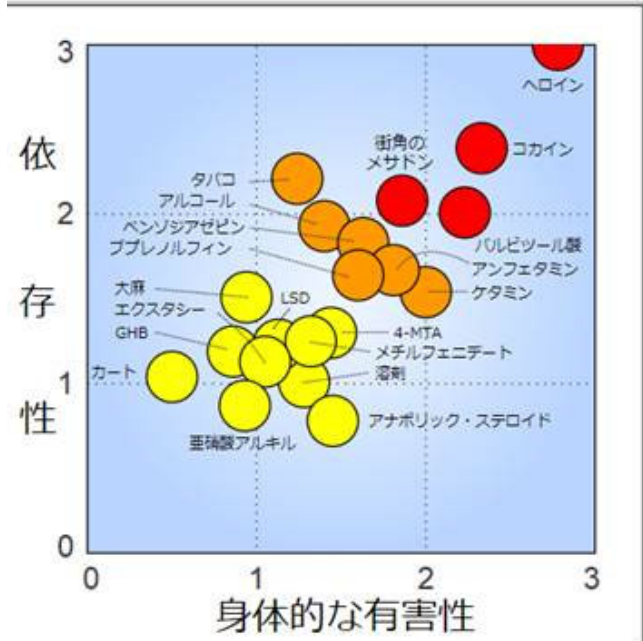
<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO52379780Q9A121C1000000/>

以下引用

『その最初の一発で完全にハマってしまうんです。だんだん少しずつ深みにはまるんじゃないかと、軽い気持ちの最初の一発だけでガッチリはまります。体質によるものなのか、とにかく個人差があるらしい。家庭も仕事も、人生のすべてがたった一発で台無しになってしまう。二度と後戻りできない地獄の始まりです。なんとも恐ろしい。』

違法薬物の依存性の恐ろしさを正確に伝えることで、軽い気持ちで新たな依存者を生まないようにすることが重要である。すでに違法薬物依存者への「治療を進めること」と「その罪を問うこと」は別であり、NCNP松本俊彦医師が求める「治療のため違法薬物使用者への寛大な措置」は、新たな違法薬物使用者を生み出す危険性が高く、MHLWも強く反対している。

特に、ベンゾジアゼピンも強い依存性を有し、違法薬物と同様に、離脱症状等の苦しい後遺障害に苦しむことになる。そして何より、違法薬物は「快楽」を求めて自らが服用するのに比べて、ベンゾジアゼピンは治療のため、医師から処方されて「服用で病気が治る」と信じて服用を続けて、薬物依存となった経緯が、極めて、不合理・不条理である。しかも、処方した医師が「その病状は元からの精神病だ」などと摩り替えられていることは、患者に二重の苦しみがある。



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3>

⇒ベンゾジアゼピンの依存性は「大麻やLSD、MDMAよりもはるかに強い」と言われている。

3. エルトン・ジョン、薬物依存に苦しんでいた時にジョージ・ハリソンからもらった助言を語る <https://nme-jp.com/news/82017/>

以下引用

『クリス・エヴァンスはエルトン・ジョンに対してジョージ・ハリソンからもらった「一番の助言」は何かと質問している。「コカインの粉末を鼻に付けるな、かな」とエルトン・ジョンは笑いながら答えて、薬物を断ってから今年で29年を迎えたことを明かしている。』

4. ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集 (追加掲載)

No.8 体験者（S. F.）を掲載しました。

<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%BB%E7%99%82%E3%81%AE%E4%BD%93%E9%A8%93%E9%9B%86/>

皆さんもご自分の体験をお送りください。出来れば、減薬の取組などがあれば他の方の参考になります。躊躇せずに、病状の実態を公開しましょう。必ず、今後の事態の打開につながると思います。本メールアドレスへ本文打ち込みでお送りください。

5. 注釈：お送りしている本情報提供メールは、同じものを以下のBYA-HPに掲載しています（添付資料を含め）。**バックナンバーもチェック**できます。

高容量のメールを受信できない方は、「BYA情報提供メール」のページを検索エンジンでご覧ください。

<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%EF%BD%82%EF%BD%99%EF%BD%81%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB/>



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史

協議会の連絡先

愛知県及び東京都に連絡先を置く

愛知県（暫定仮）

柴田・羽賀法律事務所

〒461-0001 名古屋市東区泉1-1-35

ハイエスト久屋5F Tel : 052-953-6011

